

本校では、平成26年度から『補充・深化』の授業、地域と連携した特別活動や総合的な学習の時間を土曜授業に位置付けることにより、子どもの豊かな心を育むとともに、基礎・基本を確実に身に付けさせる」ことを目的として、土曜授業を実施してきました。

4年目の今年度は、年間10回実施します。

### 〔土曜授業の年間カリキュラム〕

期 日	主な学習内容
5月13日(土)	・補充・深化の授業 ・ <b>花壇苗植え活動</b> 等
7月22日(土)	・補充・深化の授業 ・ <b>小学生（第6学年）の中学校登校</b> <b>（小中合同いじめ根絶集会）</b> 等
8月26日(土)	・ <b>第1回学力コンクール（国、数、外）</b> ・防災学習（行事） 等
9月16日(土)	・英語暗唱発表会 等
10月14日(土)	・中・高等学校の連携学習 ・第2回学力コンクール（理科、社会）等
11月11日(土)	・外部人材を活用した講演 ・理科教育センターによる「理科実験教室」
12月16日(土)	・補充・深化の授業 ・心に響く道徳の授業 等
1月20日(土)	・第3回学力コンクール（5教科） 等
2月17日(土)	・スポーツトレーニング講座 等
3月24日(土)	・1年間の振り返り

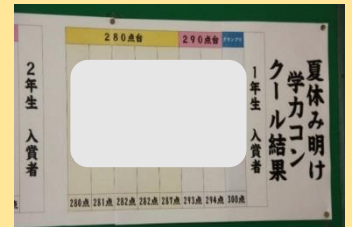
#### ○ 花壇苗植え活動



地域住民、保護者と一緒に、校庭や学校前の道路沿いの花壇に苗を植えました。次年度からのCS導入に向け、地域住民との連携・協力体制も深まっています。

#### ○ 第1回学力コンクール

8月には、「学力コンクール」（国語、数学、外国語）を実施しました。



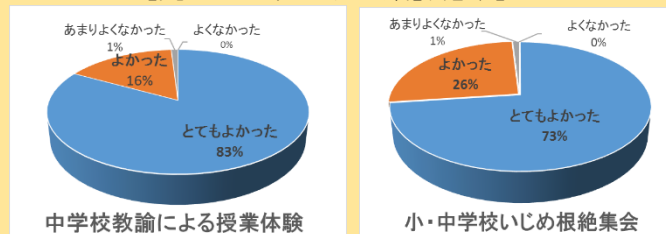
生徒は、夏休み中に教科の基礎的・基本的な課題に取り組み、コンクールを目標に努力を積み重ねてきました。成績が上位の生徒の氏名を廊下に掲示するなどして、学習意欲の向上を図っています。

#### ○ 小学生（第6学年）の中学校登校



小中一貫教育を見据え、7月には、近隣の若草小学校の児童（第6学年）が本校に来校し、理科や外国語などの授業体験を実施しました。また、児童会・生徒会が中心となって、小・中学校合同で「いじめ根絶集会」を行い、いじめをなくす方策について一緒に考えました。

#### 〔児童アンケートの集計結果〕



#### 【教師の声】

- ・土曜授業を活用した地域住民、保護者と連携・協働した活動を次年度からのコミュニティ・スクール導入につなげていきたい。
- ・児童会と生徒会の交流は、それぞれ工夫があり非常によかった。土曜授業を活用することにより、日程的にも余裕ができ、小学生の中学校生活に対する不安を解消することにつながった。

# 「土曜授業」実践事例（平成29年度 年間6回実施）

## 体験的・問題解決的な学習の充実

### 北斗市立久根別小学校

#### 本校の土曜授業のねらい

本校の児童は、全国学力・学習状況調査の結果から、地域の教育資源を活用した人、自然、社会等とのかかわる体験が少ないという課題が見られた。このため、総合的な学習の時間での体験的・問題解決的な学習において、地域の豊かな自然や人材等を活用した多様な体験を位置付け、重点教育目標である「心づくり、考えづくり、体づくり」に取り組んだ。

## 心づくり

### 小中連携クリーン作戦

5月13日（土）に実施

本校児童と校区内の中学生が、通学地域で班をつくり、地域の方々と協働で地域のクリーン作戦を行った。



## 考えづくり

### 地域公開参観日（道徳）

9月9日（土）に実施

全校で道徳の授業を地域に公開した。児童が、考え議論する様子を保護者、地域の方々に参観していただいた。



## 体づくり

### 地域公開なわとび大会

9月30日（土）に実施

夏休み明けから1カ月取り組んだなわとびの大会を開催し、児童が目標に向かって努力する姿を保護者、地域の方々に参観していただいた。



#### 【成果と課題】

- 土曜授業により、多くの保護者、地域の方々に学校の教育活動を直接伝えることができた。また、クリーン作戦では、中学生、地域の方々との交流を深めるとともに、ふるさとを大切にしようとする心を育むことができた。
- 日頃体験することのできない活動を実施できるように、情報を収集し地域人材バンクを整備する必要がある。



「土曜授業」実践事例（平成29年度 年間6回実施）

北斗市立茂辺地小学校・北斗市立茂辺地中学校(小中併置校)

＜学力向上に向けた取組＞

『外国語活動・外国語と関連を図った小中合同クリスマス集会』

- 1 ねらい
  - (小) クリスマスに関する活動を通して、海外の文化に触れ国際理解を深める。
  - (中) コミュニケーション活動において、普段の学習で身に付けた基礎・基本を活用し、異文化理解を深める。
  - (共通) 小中合同の活動により、児童生徒の交流を深める。
- 2 日時 平成29年12月16日(土) 2・3時間目(9:40～11:20)
- 3 場所 体育館
- 4 参加対象 小学校全児童・中学校全生徒
- 5 内容
  - ・中学生によるスキット(VTR)の上映
  - ・クリスマス縁日
  - ・クリスマスプレゼント(手作りカード)交換会

＜健康・安全に関する取組＞

『小中合同 集団下校訓練』

- 1 ねらい
  - ・有事の際など、速やかに集団下校ができるようにする。
  - ・中学生が小学生を助けて、集団下校ができるようにする。
  - ・地域の危険箇所を知り、交通安全への意識を高める。
- 2 日時 平成29年4月8日(土) 3時間目(10:40～11:30)
- 3 場所 体育館(班活動)・2グループに分かれて集団下校
- 4 参加対象 小学校全児童・中学校全生徒
- 5 内容
  - ・小中合同による縦割り班ごとに、自分たちの通学路(地域)の危険箇所を話し合う。
  - ・通学路グループ(山・海)に分かれ、集団下校



『小中学校、町内会合同 避難訓練(地震・津波)』

- 1 ねらい
  - ・授業時間(学校生活の時間帯)における地震・津波発生時の安全・迅速・確実な避難行動の仕方を習得させ、一人一人の命の大切さや安全に対する認識を育てる。
  - ・町内会と合同で、地震発生により津波警報が発令されたことによる避難を実施し、地域との連携や問題点を把握し災害時に備える。
- 2 日時 平成29年9月30日(土) 1・2時間目(8:45～10:10)
- 3 場所 1次: 児童生徒玄関前 2次: 矢不來天満宮
- 4 参加対象 小学校全児童・中学校全生徒
- 5 内容
  - ・校内放送による1次避難
  - ・防災無線による2次避難
  - ・防災グッズ作り(ゴミ袋で作れるポンチョ)
  - ・保護者への引き渡し訓練



＜体力向上に向けた取組＞

『小中合同 新体力テストの取組』

- 1 ねらい
  - ・新体力テストの結果を基に自己の体力を見つめ、体力を積極的に向上しようとする資質を育てる。
  - ・小中学生が励ましながら、体力を高めようとする資質を育てる。
  - ・新体力テストの結果を基に、児童生徒の課題をつかみ、今後の指導に生かすことができるようにする。
- 2 日時 平成29年7月1日(土) 1～3時間目(8:45～11:25)
- 3 場所 グラウンド・体育館
- 4 参加対象 小学校全児童・中学校全生徒
- 5 内容
  - ・小中合同による縦割り班ごとに、ローテーションしながら新体力テストを行う。
  - ・種目(8種目) 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・立ち幅跳び  
50m走・ソフトボール投(ハンドボール投)・20mシャトルラン



【成果と課題】

- 中学生は、小学生へのアドバイスを通じて、リーダー性が育つとともに、小学生は、中学生を手本として活動に高い意欲をもつことができた。
- 体力的な差を考慮することや、単位時間の違いがあるため合同で実施する際は調整する必要がある。

# 「土曜授業」実践事例(平成29年度 年間6回実施)

北斗市立石別中学校

回	月	日	曜	時数	教科・領域	授業内容	成果
1	4	22	土	1	教科	通常授業	保護者、地域の方々に授業参観、PTA総会、学級懇談会を土曜日開催にすることで少しでも参加しやすい条件を整え、来校していただくことで学校理解の一助としてもらうことを目的として実施し一定の成果を得た。
				2	教科	通常授業	
				3	教科	授業参観	
				4	PTA総会	学級懇談会	
2	5	20	土	1	行事	運動会準備	運動会実施一週間前の土曜日に実施することで、雰囲気高め、また、じっくり取り組む時間を確保することで心身の準備を整えることができた。
				2	行事	運動会準備	
				3	行事	運動会準備	
				4	行事	運動会準備	
3	7	8	土	1	教科	通常授業	1学期を終えるにあたり、ここまでの学校評価と2学期に向けての課題等の精査を授業参観や懇談会を通して行い、共通理解を図る機会とした。
				2	教科	通常授業	
				3	教科	通常授業	
				4	教科	授業参観	
4	9	2	土	1	保健体育科	水泳	全校体育で、水泳授業を実施した。水泳は事前に机上学習1回、実技1回となっている。集中して全職員が関わりながら実施していて、研修の役目も果たしている。
				2	保健体育科	水泳	
				3	保健体育科	水泳	
				4	保健体育科	水泳	
5	12	9	土	1	行事	餅つき祭	地域の方々、小学生、保育園児と共に餅つきを行い、地域理解を深めながら、地域の方々と交流する機会をもつことができた。
				2	行事	餅つき祭	
				3	行事	餅つき祭	
				4	行事	餅つき祭	
6	3	10	土	1	行事	卒業式総練習	卒業式に向けて、総練習と3年生を送る会を同日で実施することにより、送る側も送られる側も感謝の意識を高め、卒業式に臨むことができた。
				2	行事	卒業式総練習	
				3	行事	3年生を送る会	
				4	行事	3年生を送る会	



【地域公開参観日の様子】



【石別地区四者合同運動会の練習の様子】

## 【成果と課題】

- 行事に向けての練習時間を確保することができた。
- 土曜日を参観日にしたことで、地域のふれあう会の方々が授業参観等で学校に訪れる機会が増えた。
- 地域のふれあう会と連携した教育活動の一層の充実を図るため、計画的・発展的に土曜授業を進める必要がある。

# 「土曜授業」実践事例 (平成29年度 年間6回実施)

北斗市立上磯中学校

<土曜授業の基本的な考え方>

**目的** 学力保障(学力向上)のための授業時数の確保と、地域学習(ふるさと教育)を通して地域と連携した教育活動を展開することを目的とする。

- 教育課程内の教育活動として実施する。
- 年間6回実施する。
- 校区内の小学校と同一日に実施できるように可能な限り連絡・調整を図る。

## 4月15日 通常事業・生徒会認証式

## 5月13日 上磯中学校区クリーン作戦 (小中連携)

- 上磯中学校の生徒が出身小学校に出向き、小学生と共に校区のクリーン作戦にあたる。また、町内会とも協力し地域を巻き込みながら活動にあたった。中学校3年生は小学校低学年、中学校2年生は小学校中学年、中学校1年生は小学校高学年と共に安全に配慮しながら活動にあたった。



## 7月22日 通常授業

## 9月9日 生徒会によるいじめ撲滅集会 (地域公開日)

- 生徒会を主体とした啓発活動の1つとして全校生徒に考えさせる機会とする。
- どんな理由があっても、いじめは絶対に許されるものではないことを理解させる。
- 自分たちの問題を自分たちの力で解決しようという自治意識を育てる。
- リーダーを中心として、いじめ撲滅のために何ができるかを考える。異学年によるグループを編成し、他の学年の生徒の意見を聞き、全体会で発表。ひとりひとりが、いじめ撲滅宣言を行った。



## 10月14日 道徳地域公開授業 (地域人材の活用)

- 過去にはPTA会長、現在はPTA評議員をしてくださっており、上磯中学校の生徒達を傍で見て下さっている福地氏に、「仕事とはどのようなものなのか」について、これから進路選択していく1年生と、今これから選ぼうとしている3年生に向けてお話いただくことで、生徒の進路選択の一助とする。



## 11月11日 うたごえ集会 (小中連携)

小学生のめあて：中学生の取組を肌で感じ、中学生になる自覚をもつ。  
中学生のめあて：同じ地域に暮らす中学生として、小学生の手本となる姿を見せる。

- 卒業を控えた小学校6年生を中学校に招き、合唱の交流を行う。小学生に見通しをもたせ、中学生には上級生としての意識をもたせる。



### 【成果と課題】

- 地域の方々や小学生とふれ合うよい機会となるとともに、特に小学生と一緒に活動することは中1ギャップの未然防止にもつながっている。
- 部活動の大会等の日程調整が難しく、全ての生徒が参加することが難しい。



## 「土曜授業」実践事例（平成 29 年度 年間 6 回実施）

北斗市立浜分中学校

○ 例年、生徒会を中心とした生徒の手による集会や行事を、土曜授業を活用して、以下のような概要で実施している。

- 1 4月 「第1回生徒会が新入生を迎える会」
  - ・目的：新入生の入学した喜びと、上級生の自覚と態度を高める。
- 2 7月 「海浜清掃」
  - ・目的：地域との連携した地域貢献
- 3 7月 「生徒会主催全校集会」
  - ・目的：生徒会書記局のリーダーシップ育成と成功体験をもたせるとともに、全校生徒の人間関係力を高める。
- 4 11、1、2月 「学年別球技大会」
  - ・目的：学年の行事を通して、生徒会の健康委員会の生徒を中心に、生徒自らが行事を計画・運営することで主体性の伸長と親睦を高める。
- 5 12月 「第2回生徒会主催全校集会」
  - ・目的：生徒会書記局のリーダーシップ育成と成功体験をもたせるとともに、全校生徒の人間関係力を高める。
- 6 1月 「3年生を送る会」
  - ・目的：3年生の卒業に向けての決意と、1、2年生が3年生へ感謝を表す。

このような取組を通して、生徒会役員をはじめ委員会の生徒が、学年・学級のリーダーの育成や望ましい人間関係づくりなどへ向けて、自主的・主体的な活動への意識や自信を深めている。

今年度は、その取組を、10月21日(土)に、「どさんこ☆子ども地区会議」の中で実践発表した。



【海浜清掃】



【生徒会主催の集会活動】



【実践発表】

### 【成果と課題】

○生徒会役員をはじめ各委員会の生徒や学年・学級のリーダーが、企画・準備・実施する、生徒主体の集会やボランティア活動を実施することで、生徒の学校生活への主体性、自治的な意識、望ましい人間関係づくりなどにおいて、成果が見られる。

●活動内容が単調になってきているが、新しい企画を進めるには、そのための時間が必要となるため、その時間の確保が課題である。



# 宗谷中学校の土曜授業

## 宗谷中の土曜授業の特徴

◇宗谷中では、学力と体力の向上を図るとともに、これまで大事にしてきた教育活動をより深めることができるよう、地域や人とのかかわりを大切にしたい心の教育の展開を計画しています。

## 宗谷中の土曜授業の考え方

◇土曜日に実施する利点を生かすことを考えていますが、基本的な考え方として、土曜だけではなく、平日と土曜の授業の関連により、学力、体力を伸ばし、心豊かな子どもの育成を図ることを目指しています。

ここで産業教育カリ  
Q1 昨年行われた工  
使われていないのは

◇宗谷中の特色をみんな  
で学び、1年のスタートを  
切ろう！

①あさり ②おおなご ③さんま 4/15 産業教育機関エフ-ション

◇御家庭の協力も  
得て、自分でつ  
くるおにぎり。  
みんなで食を学  
ぼう！



7/1 食を考える



9/30 地域医療と町づくり

◇この地域で生きて  
いくために、現在  
の医療の現状を知  
り、未来に向けた  
提案をしよう！

## 年間指導計画

①	4月15日	産業学習機関エフ-ション ・今年の水産学習のスタート
②	5月13日	体作りと食育 ・名寄市立大学 黒河先生
③	7月1日	漁師で音楽家の方を招待 ・自分でおむすび（食育）
④	8月26日	子ども芸能祭 ・最北ソーラン披露
⑤	9月30日	地域医療と町づくり ・市役所地域創生課から
⑥	11月5日	稚内市小中音楽祭 ・周年記念歌の披露
⑦	11月18日	生徒総会 ・開校50周年を祝して
⑧	12月16日	薬物乱用防止教室 ・稚内市保健所から講師
⑨	1月27日	父親参観 ・開校50周年地域と学ぶ
⑩	2月10日	土曜制作講座 ・50周年を振り返る制作

※今年度は開校50周年という節目を迎え、周年行事と関連させた活動を位置付けています。土曜日に授業を実施する利点を生かし、外部人材の活用や地域での活動に取り組めるようにしています。

## 土曜授業を実施して…

◇最初は手さぐりの状況で不安もありましたが、実際に実施してみると、地域の方など校外の方に講師を務めていただき、これまで取り組んできた教育活動の充実につなげることができています。

◇一方で、外部人材との連絡調整などの業務増や、部活動の大会との関わり等の課題も見えてきました。今後も、課題を整理しながら、土曜授業の改善・充実を図ります。



